

「横尾忠則 肖像図鑑」展 —Y+T MOCA 開館 1 周年を迎えて—

■「横尾忠則現代美術館」開館まで

・建物

兵庫県立近代美術館 → 原田の森ギャラリー西館 → 横尾忠則現代美術館

・開館準備

作品整理……………輸送、調書作成、撮影、データベース化 など

館内環境整備……………空気、生物、温室度 など

開館広報……………記者会見、HP 開設、パンフレット作成、チラシ・ポスター配布・掲示、
周辺案内、各種イベント出店 など

展覧会準備……………出品交渉、図録製作、広報印刷物作成、作品輸送・展示、関連事業など

・開館記念式典（2012 年 11 月 2 日）

■これまでの展覧会

・開館記念展 I 横尾忠則展「反反復復反復」（2012 年 11 月 3 日～2013 年 2 月 17 日）

・開館記念展 II 横尾忠則展「ワード・イン・アート ～字は絵のごとく、絵は字のごとく～」
（2013 年 3 月 2 日～6 月 30 日）

・「横尾忠則 どうぶつ図鑑 YOKOO'S YOKOO ZOO」（2013 年 7 月 13 日～9 月 16 日）

■「横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS」

・趣 旨 俳優・作家・ミュージシャンなど、時代を彩るスターたちを描いてきた横尾忠則のポートレート作品に焦点をあてた展覧会。絵画を中心に、1960 年代から今日にいたるまでのイラストレーション、デザイン原稿、ポスター、版画を展示

・会 期 2013 年 9 月 28 日（土）～2014 年 1 月 5 日（日）

・構 成 俳優／歌手・ミュージシャン／芸術家／家族／作家

三宅一生・瀬戸内寂聴・檀一雄 各氏とのコラボレーション作品

・兵庫県立美術館「横尾忠則 感応する風景」展と同時期に開催

横尾忠則プロフィール

- 1936 年 兵庫県西脇市に生まれる
- 1956 年 神戸新聞社に入社（～1959）
- 1965 年 吉田画廊にて個展 会場で三島由紀夫と出会う
銀座松屋で開催されたグラフィックデザイン展ペルソナに出品
- 1966 年 南天子画廊にて個展 初の絵画作品「ピンクガール」シリーズを発表
- 1969 年 第 6 回パリ青年ビエンナーレ版画部門グランプリ
- 1972 年 ニューヨーク近代美術館にて個展
- 1974 年 第 5 回ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ金賞
- 1980 年 ニューヨーク近代美術館で開催された「ピカソ展」に衝撃を受け、絵画制作への情熱が高まる
- 1982 年 南天子画廊にて個展 新作絵画を発表、「画家宣言」ととらえられる
- 1985 年 第 13 回パリ・ビエンナーレ招待出品
第 18 回サンパウロ・ビエンナーレ招待出品
- 1986 年 パリ、ポンピドゥー・センター「前衛芸術の日本 1910-1970」に出品
- 1993 年 第 45 回ヴェネツィア・ビエンナーレの企画展に出品
- 1994 年 横浜美術館／グッゲンハイム美術館ソーホー「戦後日本の前衛美術」に出品
- 1997 年 兵庫県立近代美術館／神奈川県立近代美術館にて個展
- 2000 年 ニューヨーク ADC 殿堂入り
- 2001 年 富山県立近代美術館にて個展
原美術館にて個展
紫綬褒章を受章
- 2002 年 東京都現代美術館／広島市現代美術館にて個展
- 2003 年 京都国立近代美術館にて個展
- 2005 年 熊本市現代美術館にて個展
- 2006 年 パリ、カルティエ現代美術財団にて個展
- 2008 年 世田谷美術館／兵庫県立美術館にて個展
小説『ふるうらんど』で第 36 回泉鏡花文学賞を受賞
- 2009 年 金沢 21 世紀美術館にて個展
- 2010 年 国立国際美術館にて個展
- 2011 年 岡山県立美術館／高知県立美術館にて個展
旭日小綬章を受章
朝日賞を受賞
- 2012 年 ロシア、モスクワ市立美術館／イスラエル、ハイファ美術館
「ダブル・ヴィジョンー日本現代美術展」に出品
横尾忠則現代美術館が開館
- 2013 年 岩手県立美術館／福島県立美術館にて個展
神戸新聞平和賞受賞
西脇市名誉市民（第 1 号）の称号を授与
豊島横尾館開館
青森県立美術館にて個展